

いばらき教員応援団

For the future of Ibaraki children

No.15

令和7年度の事業内容をご報告いたします



令和7年度事業概要

目的 日本を代表する一流講師による講演会を開催し、講話を通して、総合的な教師力の向上に資することを目的とする。

対象者

市町村立小・中学校、義務教育学校等、
県立高等学校、県立中等教育学校、
県立中学校、県立特別支援学校
・新任校長、新任副校長
・新任教頭
・新任教務主任、新任主幹教諭、新任指導教諭

研修会

- グループ別研修会
新任校長、新任副校長(6月5日)
新任教頭(6月26日)
新任教務主任、新任主幹教諭、
新任指導教諭(6月12日)
- 合同研修会 対象者全員(7月1日)

ごあいさつ



代表理事
幡谷 史朗

本事業は、高野名誉理事長の「日本の世の中全体が、あらゆる分野で、非常に悪くなってきている。このままでは日本の将来は大変なことになる。それには、学校の先生方皆様に高い志のもと高い理想のもと大いに奮い立っていただき、次の時代を担う青少年を子供達を正しく育成させていただく他に道はない」との思いに賛同する企業や県民の皆様をはじめとする多くの方々のご尽力によって発足し今日に至ります。いばらき教員応援団は、今後も高野名誉理事長のご遺志を受け継ぎ、本事業の更なる発展に努めてまいります。

「教育」とは、児童・生徒の人格を形成する。すなわち、彼ら彼女らとその後の人生における自分自身の「理想図」を描く事に寄り添う事であると考えます。先生からの教えが、どの様に自分自身が捉え、噛み砕き消化し、何時の時点で「血」となり「肉」となるかは、本人達でさえ判りません。直ちに成果が現れてこない、時間がかかる、たとえ判ったとしてもその時、目の前にもう「恩師」はいない。小学校6年間、中学校3年間、高校3年間(多くの全日制の場合)、合計12年間でどれだけの思いが相手に届くか?なかなか手ごたえを感じる事ができないのが、「教育」です。ひたすら待つ、成長を待つ、気づきを待つ、目覚めを待つ、ここに集うみんなで児童・生徒に寄り添い、一緒に明るい「未来」を作りあげて参りましょう。研修に参加された多くの先生方が、講演内容に感動され、その気づきからこれからの教育活動に研修の成果を存分に生かして下さるものと考えております。

今後も、茨城の教育力のさらなる向上、「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る」ための社会貢献の一環として、茨城の教員の皆さんを応援して参ります。ここに広く、県民の皆様の、この事業へのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

For the future of Ibaraki children



グループ別研修会

6月5日(木) ● 新任校長、新任副校長 [参加者 196(企業29)名]

演題

人間力を磨く



講師

上甲 晃氏 有限会社 志ネットワーク社代表

「志の高い日本」は、「志の高い日本人」によってこそ実現するとの思いに立ち、志ネットワーク活動を展開している。また、活動の一環として、「青年塾」を創設し、青年の人間性の啓発に取り組んでいる。著書：『志を継ぐ』(致知出版社)、『志のみ持参』(致知出版社)、『志高く生きる』(致知出版社)、『人生の合い言葉』(致知出版社)、『志を継ぐ』(致知出版社)、『松下幸之助の教訓』(致知出版社)等

受講者の感想より

人間力を磨くというテーマのとおり、人として大切なことを考えさせられる研修会でした。教えるを乞うことの重要性、継続する心構え、熱心であることの大切さ、どの話も心に響きました。特に、「他人を変えることはできないが、自分を変えられる。自分が変われば他人も変わる」という話には深い感銘を受けました。ありがとうございました。

(小学校 副校長)

上甲先生のお話は、深く心にさざりました。管理職として、どうあるべきかをしっかりと考える機会となりました。先生たちの声に耳を傾け、しっかりと話を聴いていかなければ、何も始まらない。話を聴いてこそ、風通しのよい職場環境がつけられる。凡事徹底を心がけ、心を磨く。そんな自分でありたいと、改めて強く感じました。貴重なご講話をありがとうございました。

(義務教育学校 副校長)

「人生で変えることができるのは自分だけであり、他人を変えることはできない。自分が変われば周囲が変わることの気づきが重要である」という視点を改めて捉え直すことができました。今後の学校経営だけでなく、人生の生き方にも生かしていきたいと考えました。(高等学校 副校長)

上甲先生のご講演から、子どもたちの心を育てるための「流汗悟道」と校長として相手の話を聞き届ける大切さを学びました。課題が見えてきた時期であるからこそ、聞く力を十分に活用していきたいです。「真理は平凡の中にある」という先生の言葉から日々の授業の中に子どもたちが求めるもの、伸ばすべき力を見つけ、教育活動を充実させていくことが使命であると改めて思いました。(特別支援学校 校長)

グループ別研修会

6月26日(木) ● 新任教頭 [参加者 200(企業18)名]

演題

志高き日本人の物語



講師

白駒 妃登美氏 株式会社 ことほぎ代表

日本の歴史や文化の素晴らしさを国内外に発信するために、「株式会社ことほぎ」を設立。大病を患い、命と向き合うなかで、先人たちの生きざまを振り返り、「未来の自分に必要なことが、いま起っている」という思いに至り、「今を受け入れ、最善を尽くし、平然と生きる」という“天命追求型”の生き方にシフトする。生き方を変えたことで病状が奇跡的に快復した経験から、先人たちの「志」や、そこに生きた人々の「思い」に触れる歴史の講演を開始。その講演が好評を博し、コロナ以前、年間の講演依頼は200回に及んだ。コロナ以後は、オンラインの『和ごころ大学』、および『天命追求型・実践経営者会議』を主宰。250名を超える塾生に、歴史が教えてくれる、逆境を力に変える生き方を伝え続けている。著書：『人生に悩んだら『日本史』に聞こう』(共著 祥伝社)、『感動する!日本史』(中経出版)、『こころに残る現代史』(KADOKAWA)、『子どもの心に光を灯す日本の偉人の物語』、『1日1話、読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書』(致知出版社)等

受講者の感想より

心に残る言葉がたくさんありました。また、先人から学ぶ姿勢も勉強になりました。志を大切に作る生き方をしていきたいと強く感じました。その姿を目の前の子どもや教職員に見てもらい、何か伝えたいと思えます。美しいものに触れ感性を磨き続けたいです。今日はそのための貴重な時間となりました。

(小学校 教頭)

「命に代えても守りたいものがあれば、命を軽んじることはない」「自分がどれだけの喜びの源になっていると実感できること」この2つのフレーズが、現在直面している生徒支援の大きなヒントになりました。ステキな時間を過ごすことができましたことに感謝いたします。

(中学校 教頭)

白駒先生の重いご体験に裏打ちされた言葉には深い力があり、教育の本質を語る上で非常に示唆に富む講演でした。人生には喜びがある一方で、いつ悲しみや苦境に見舞われるか分からない。しかし、それらを「未来に必要なこと」と捉えられる視座を持つことで、前向きに生きていけると感じました。また、「幸せとは、自分という存在が誰かの喜びの源になっていると実感できること」という言葉を、自らの行動や言葉に変えて、教職員や生徒に伝えていきたいと強く思いました。

(高等学校 教頭)

今を生きる子供たちに伝えなければいけないことを歴史が教えてくれているということに気付くことができました。今、取り組んでいることは、全て意味があり、未来につながっているということを自信をもって子供たちに伝えていきたいです。「今を受け入れ、最善を尽くし、平然と生きる」ことに覚悟をもって向き合い、教育者としての使命を果たしていきたいです。

(特別支援学校 教頭)

グループ別研修会

6月12日(木) ● 新任教務主任、新任主幹教諭、新任指導教諭 [参加者 278(企業42)名]

演題

最高の職場・クラスを創るために
メンバー全員で共有しておきたい
5つの捉え方



● 講師

木下 晴弘 氏

株式会社 アビリティトレーニング
代表取締役

株式会社アビリティトレーニングの代表取締役として、全国の教育機関で、教員・保護者・生徒向けのセミナーを実施している。そして、そのセミナーは様々な分野の各企業からも注目され、受講者は450,000人を超えている。著書:『ココロでわかると必ず人は伸びる!』(総合法令出版)、『できる子にする『賢母の力』』(PHP研究所)、『涙の数だけ大きくなれる!』(フォレスト出版)、『人生が180度変わる幸せの法則』(総合法令出版)、『しあわせの教科書』(アチーブメント出版)、『学校では教わらなかった人生の特別授業』(フォレスト出版)、『子どもが心から勉強好きになる方法』(PHP研究所)『ココロでわかれば、人は“本気”で走り出す!』(ごま書房新社)、『話し方は9割が説得力!』(さくら舎)『シグマベスト 高校入試 合格へのベストアプローチ数学 図形』(文英堂)『シグマベスト 高校入試 ズバビタ数学 図形』(文英堂)『にじいろのボタン』(しちだ・教育研究所)等

受講者の感想より

普段仕事をしていると身の回りの現象に目が止まり、どうしても本質を見失ってしまうことがあります。これは、大人もそうであるのだから、子どもであれば尚更だと思います。しかし、その本質を1日の中で意識することで、目的をもって仕事ができます。子どもたちにも毎日伝えていくことで意識化していくことが大切だと感じました。

(中学校 主幹教諭)

木下先生、本日は貴重な講話をありがとうございました。自然の法則を考えることや本質を見抜くことの重要性などを学ぶ事ができました。また、積小為大の法則や自分が源泉である事など、人間として大切なことを数多く学ぶことができました。今日の研修会で学んだ事を子どもたちの幸せのために生かしていきます。本日は、とても貴重な時間を過ごす事ができました。ありがとうございました。

(義務教育学校 教務主任)

「児童生徒の未来は教員の肩にかかっている」その言葉が胸に響き、日頃の教育活動を改めて振り返る貴重な機会となりました。今回、このような研修の場を設けてくださった教員応援団の皆様、心より感謝申し上げます。また、木下先生の「生徒の内発的動機付けこそが、生徒のモチベーションを持続させる鍵である」という言葉を、今後の自らの指針として胸に刻み、日々の生徒との関わりに生かしてまいりたいと思います。

(高等学校 指導教諭)

目に見えるものを変えたいければ目に見えないものにアプローチすること、本質を見抜くことが教育では大切であると感じました。教務主任として、組織の風土に注視して成長のための出来事をどう捉えるか、学校全体で人の心を見て、育てる学校をつくっていききたいと思いました。

(特別支援学校 教務主任)

合同研修会

7月1日(火) ● 対象者全員 [参加者 538(企業29)名]

演題

未来を創る思考と行動
〈失敗から学んだコミュニケーション〉



● 講師

工藤 公康 氏

福岡ソフトバンクホークス元監督

1963年愛知県生まれ。1982年名古屋電気高等学校(現:愛知工業大学名電高等学校)を卒業後、西武ライオンズに入団。以降、福岡ダイエーホークス、読売ジャイアンツ、横浜ベイスターズなどに在籍し、現役中に14度のリーグ優勝、11度の日本一に輝き優勝請負人と呼ばれる。実働29年プロ野球選手としてマウンドに立ち続け、2011年正式に引退を表明。2015年福岡ソフトバンクホークス監督に就任。2020年監督在任中、筑波大学大学院人間総合科学研究科体育学専攻を修了。体育学修士取得。2021年退任までの7年間に5度の日本シリーズを制覇。2022年筑波大学大学院博士課程に進学。スポーツ医学博士取得に向け研究や検診活動を行う。現在は仕事の傍ら、農作業やDIYに勤しんでいる。【選手時代の功績】最優秀選手(MVP)2回、最優秀防御率4回、最高勝率4回など数多くのタイトルに輝き、通算224勝を挙げる。正力松太郎賞を歴代最多に並ぶ5回受賞。2016年には野球殿堂入りを果たす。【近著】『数字じゃ、野球はわからない』(朝日新聞出版)、『勝ち続けるチームを支える言葉』(幻冬舎)、『プロ野球の監督は中間管理職である』(日本能率協会マネジメントセンター)等

受講者の感想より

思考と行動を意識しながら、監督を校長、コーチを職員、選手を児童生徒に置き換えて、お話を聞かせていただきました。学校現場に活かせる内容が多く、今後の学校経営にとっても役立つ内容でした。特に、相手に求める前に自分が変わらなければならないことの大切さや一日をルーティン化することで効率化できること等、すぐにでも学校全体で取り組んでいきたいと思えます。お忙しい中、ご講演ありがとうございました。

(小学校 校長)

工藤さんに対してトップダウン型の監督像をイメージしていましたが、選手一人一人に寄り添い、個性、強み等の理解に努めておられることに驚きました。「リーダーは組織の上にいるのではなく、歯車の中心で動くことで組織全体を動かす」、私の心に強く響きました。本日は、情熱あふれるご講演をいただき大変ありがとうございました。

(中学校 校長)

今回の工藤公康先生のお話を伺って強く感じたことは、物事への考え方や、信念と覚悟の重要性、常に思考して行動することの大切さです。講話の中で伝えていただいた「マイナスを取り除いた状態で物事を見る」「大変=自分を大きく変えるチャンスだと思う」「出来ることを全てやるぐらいの意識を持っていること」「監督は上にいるのではなく、中心で動く存在」など、教育現場でも必要な意識だと思いました。教えていただいた言葉や、伝えていただいた熱意を今後を生かしていきたいと思えます。

(高等学校 教頭)

「有効なコミュニケーションを図るために、相手の背景や性格を知るなどの準備をする。」今まで考えたことがないことで了。自分の主観で人を判断するのはではなく、有効なコミュニケーションで、様々な見方から人を見て、相手の本質を見極められるようになりたいと思えました。

(特別支援学校 教務主任)

いばらき教員応援団へのメッセージ

「より良い組織をつくるには、真剣に話を聞くことが大切」との上甲先生のお話から、改めてコミュニケーションの力を実感し、それが人の心を動かす原動力であることを深く認識いたしました。このような学びの機会を通じて、私たち管理職に大きな励ましを与え、

今回の講演で特に印象に残ったのは、「コミュニケーションのための準備」という言葉です。相手に寄り添い、心と行動を促す言葉を伝えるためには、その人の性格や背景を知る重要性を改めて認識しました。同じ学年の教員や隣席の同僚など、フラットな関係であれば情報を得やすいですが、管理職という立場ではそれが難しい場面も多いと感じます。しかし、だからこそ、職員室内では笑顔

このような研修会の機会をいただき、ありがとうございました。教師としても親としても、「高いスキル」と「熱いハート」を大切に、教師として親として本質を見抜き、認知を変えられる子どもたちを増やしていけるように努めてまいります。今回の研修を生か

日々の教育実践を見つめ直す貴重な場を提供してくださった「いばらき教員応援団」の皆様に、心より感謝申し上げます。いただいた示唆を胸に、子どもたちの健やかな成長のために一層努力してまいります。
(中学校 校長)

で話しやすい雰囲気を作ることを心がけたいと強く思いました。本当に久しぶりに、心にすっと染み渡る講演を拝聴でき、心が晴れやかになりました。ご多忙の中、高野理事長のご遺志を継がれ、私たちにこのような貴重な機会をご提供くださった役員の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
(高等学校 副校長)

し、子どもたちが自ら考え、困難を乗り越える力を身につけ、未来を拓く力になれるように、楽しみながら一緒に歩んでいきます。
(特別支援学校 教務主任)

令和8年度事業計画

○ グループ別研修会(義務、県立の対象者参集)

5月20日(水) ホテルレイクビュー水戸(新任校長・副校長対象)
6月3日(水) ホテルレイクビュー水戸(新任教頭対象)
6月17日(水) 水戸市民会館(新任教務主任・主幹教諭・指導教諭対象)

講師:上甲 晃氏
講師:白駒 妃登美氏
講師:木下 晴弘氏

○ 合同研修会は実施しません。

いばらき教員応援団〈役員一覧〉

【役員】	代表理事		監事	
	幡谷 史朗	茨城トヨタ自動車株式会社	増山 英和	増山会計事務所
	副代表理事			
	鈴木 勝彦	株式会社鈴木良工務店		
【理事】	青谷 英将	株式会社坂東太郎	鈴木 達二	鈴縫工業株式会社
	鬼澤 慎人	株式会社ヤマオコーポレーション	関 正樹	関彰商事株式会社
	加藤 敏彦	茨城日産自動車株式会社	内藤 学	水戸ヤクルト販売株式会社
	鯨岡 則雄	株式会社大宮自動車教習所	沼尻 年正	沼尻産業株式会社
	栗山 武志	栗山電気株式会社	藤田 卓也	株式会社フジタビジネスマシズ
	坂場 英利	株式会社白英社	和田 幾久郎	株式会社祐月本店

今後も広く県民の皆様のご参加をお願いいたします

〈趣旨に賛同される方へ〉

趣旨に賛同される方は、いばらき教員応援団のホームページから入会申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記の問い合わせ先に郵送でお申し込みください。

いばらき教員応援団 <http://www.ibaraki-tcp.jp>

【問い合わせ先】

茨城県教育庁学校教育部 義務教育課・高校教育課
いばらき教員応援団事務担当

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL.029-301-5226(義務教育課)・5260(高校教育課)